

平成29年度医師のための在宅医療セミナー アンケート集計結果

開催日時 平成30年 3 月 23 日（火） 19：30～21：00
場所 横須賀市生涯学習センター第 1 学習室
参加者数 25人
(医師 9 人、看護師 2 人、事務職 8 人、訪問看護師 4 人、その他 2 人)
アンケート回収数 19人

Q 1．あなたの職種・勤務先を教えてください。

i) 職種

	回 答	件数	割合
1	医師	7	37%
2	看護師	2	11%
3	事務	8	42%
4	MSW	0	0%
5	その他	2	11%
	合計	19	

Q 1－i) 5．その他職種

	回 答	件数
	PT	1
	未回答	1

ii) 勤務先

	回 答	件数	割合
1	診療所	14	74%
2	病院	5	26%
3	訪問看護ステーション	0	0%
4	その他	0	0%
	合計	19	

Q 2．今日のセミナーの内容をご理解いただけましたか？

i) セミナー内容をご理解できましたか。

	回 答	件数	割合
1	よく理解できた	6	32%
2	まあ理解できた	12	63%
3	あまり理解できなかった	0	0%
4	理解できなかった	0	0%
5	未回答	1	5%
	合計	19	

ii) 業務に活用できると思いますか。

	回 答	件数	割合
1	とても活用できる	9	47%
2	まあ活用できる	9	47%
3	あまり活用できない	0	0%
4	活用できない	0	0%
5	未回答	1	5%
	合計	19	

Q 3. 地域包括ケアシステム構築に向け、かかりつけ医に求められる対応も増えることが予測されます。

i) かかりつけ医は、どのような対応がますます必要となってくると思いますか？（複数回答可）

	回 答	件数	割合
1	プライマリ・ケアの提供	7	37%
2	在宅医療への対応	16	84%
3	認知症への対応	9	47%
4	専門医療機関との連携	9	47%
5	医師以外の医療職、介護職との連携	9	47%
6	特になし	0	
7	その他	2	11%
	合 計	52	

Q 3－i) 7. その他の記述

今後的には未病～疾病予防～医療介護コーディネイト機能 看取りの対応

ii) かかりつけ医に対して、どのような情報や場の提供等、支援が必要だと思いますか？（複数回答可）

	回 答	件数	割合
1	関連する医療情報の提供	10	53%
2	地域の医療・介護資源、関係機関の情報提供	11	58%
3	専門医療機関との連携づくりの場	4	21%
4	医療・介護の多職種との連携づくりの場	10	53%
5	特になし	1	5%
6	その他	0	0%
	合 計	36	

Q 4. 横須賀市では在宅医療を選択できるまちづくりを進めるための取り組みを推進しています。

i) 在宅医療に取り組む診療所を増やすにはどんなことが必要だと考えますか。（複数回答可）

	回 答	件数	割合
1	診療所同士の多協力体制	11	58%
2	訪問看護師など多職種との連携	9	47%
3	医師対象の研修等の実施	6	32%
4	病院と診療所との連携	9	47%
5	その他	1	5%
	合 計	36	

Q 4－i) 5. その他の記述

省庁内の横の連携法化～組織改編

ii) 診療所・病院に勤務されている方に伺います。（職種問わず）
現在、在宅医療に取り組まれていますか。

	回 答	件数	割合
1	他から紹介患者も受けて積極的に取り組んでいる	10	53%
2	かかりつけの患者のみ行っている	1	5%
3	近い将来、取り組むことを検討している	1	5%
4	条件が整えば取り組んでもよい	4	21%
5	これからも取り組む予定はない	2	11%
6	その他	0	
	未回答	1	5%
	合 計	19	

Q 5. 横須賀市の取り組みとして、市内を4地区に分けて、地区ごとに診療所医師など、在宅医を中心としたネットワークづくりをすすめる「在宅医療ブロック会議」を設置しています。

i) ブロック会議を知っていますか。

回 答		件数	割合
1	知っており、参加したこともある	13	68%
2	知っているが、参加したことはない	2	11%
3	知らない	3	16%
4	未回答	1	5%
合 計		19	

ii) ブロック会議で実施・企画している次のような取り組みで、ご興味のあるものは何ですか。（複数回答可）

回 答		件数	割合
1	地域内における在宅医療を行う診療所どうしの協力・連携体制づくり	5	
2	在宅医の相互学習会（意見交換・情報交換・症例検討会など）	6	
3	新規に在宅医療を始める医師へのノウハウ伝授企画	2	
4	病院と診療所の体制づくり	8	
5	地域内の多職種連携を深めるための研修会など	7	
6	その他	1	
合 計		29	

Q 5－ii) 6. その他の記述

夜間休日の在宅専門の休日診療所○ような往診システム

Q 6. 本日のセミナーや地域医療についてご意見・ご感想など自由にお書きください。

もっと一般市民への啓発普及と独居貧困者保障の制度～しくみの模索
ありがとうございました。頭がいっぱいですが、しっかり対応できればなと思います。
在宅をやるにあたり、専門医の壁が高く連携が難しい。